

令和4年度「学校自己評価(保護者評価)」アンケート結果

- ・回答数は223通で、全家庭数に対して82.9%の回答が得られた。
- ・評価は、4…当てはまる 3…少し当てはまる 2…少し当てはまらない 1…当てはまらない 0…わからないとした
- ・数値は、その評価をした件数を有効回答数(全回答数から「わからない」を引いた数)で割った数を百分率で表したものである。

実施内容	学校評価の観点	設 問	評価(%)			
			4	3	2	1
I 互いを認め合える集団の中で自分らしさを構築する活動の充実 ○活動を共にする中で、互いの「らしさ」を受け止め、認め合える集団づくりを進める。 ○中学生としての「誇り」と「憧れ」を交換し、「二中生らしさ」を作り出す活動を充実させる。	1 自分や友の良いところ探し、自己肯定感を高めるエンカウンターなどを通して、自他の頑張りを認め合える集団にしていく。 2 道徳や学活などの場で、自分の意見を自由に語り合う活動を通して、自分らしさを見つめなおしていく集団にしていく。 3 音楽活動、体育活動、キャリア教育の発表等の縦割り活動を通して、上級生としての誇りや、上級生になることへの憧れをもたせられるようにする。 <u>上記3項目や一人ひとりに寄り添う心のケアを通して、生徒一人ひとりが居心地のよいと感じる学校になるようにする。</u>	1 本校生徒は、学校で居心地のよい生活をしていると思いますか。	51	31	14	3
II 話し合うことで深まりや楽しさを感じさせる授業の工夫 ○4視点で授業づくりを継続し、話し合っで深める授業を展開する。 ①聞く・受け止める・問いをもつ ②考える・話す・伝える ③分かり合う ④考えを更新する ○ICTを活用した二かららしい学びを工夫する。 ○「わかる楽しさ」と「できる喜び」を感じる学習環境を整える。	1 学びへの関心を引き出す場面を設定し、問いをもって追究できる活動にすることで、生徒自ら主体的に学ぶことができるようにする。 2 学習活動において友と考え合い、自らの考えを振り返る場面を設定することで、より深められた考えへと更新できるようにする。 3 コロナによる学級閉鎖等で学校に登校できなくても、オンライン授業等を通して、生徒が学ぶ機会があるようにする。 <u>上記3項目を通して、生徒一人ひとりが学習内容に対して「できた・わかった」と感じる学校になるようにする。</u>	2 本校生徒は、分かりやすい授業を受けていると思いますか。	29	49	19	3
		3 本校はオンライン授業などを活用していると思いますか。	31	35	23	11
III どう行動すべきかを常に考え一人となって実践する力の育成 ○「二中生らしさ」を考え合い、一人一人が自覚をもって取り組む生徒会活動を支えていく。 ○目標を明確にし、日々の生活で『明倫の心』を実践する気持ちを育てる。 ○自分に向き合い、生き方を考えるキャリア教育を推進する。	1 生徒会スローガンをもとに、生徒自らが一会員としての自覚をもち、二中生らしさを意識した積極的な実践ができる生徒会活動になるようにする。 2 地域の方から生き方を学ぶ活動や、1年時から段階的に自分の在り方を考える活動を通して、ふさわしい進路を自らが考えられるようにする。 3 自分で考える清掃活動や学級の係活動、生徒会主体のあいさつ活動等を通して、日常生活の中でもそれを生かす姿になるようにする。 <u>上記3項目を通して、今どう行動すべきかを自分で考え、主体的に実践していけるようにする。</u>	4 本校生徒は、生徒会活動に自覚をもって取り組んでいると思いますか。	51	41	5	4
		5 本校生徒は、諸活動で大切にしているあいさつなどを、家庭や社会の中でも生かそうとしていると思いますか。	34	53	11	2
		6 本校生徒は自分で考え、判断し、行動することができていると思いますか。	33	55	9	3

令和4年度「学校自己評価(生徒評価)」生活アンケート結果(12月)

あなた自身の行動について、数字を記入してください。

4…当てはまる 3…少し当てはまる 2…少し当てはまらない 1…当てはまらない 単位(%)

■生徒自身に対する自己評価

	評価項目	評価(%)			
		4	3	2	1
1	あなたは、はきはきとした声での挨拶や会釈(えしゃく)や返事ができている。	56	31	11	1
		△3			
2	あなたは、「気づき」を大切にされた清掃をし、無言清掃を行っている。	49	37	11	3
		△1			
3	あなたは、任された学級や生徒会などの活動を「よりよいものにしよう」と心がけて行っている。	63	28	7	2
		±0			
4	あなたは、ルールで決められている履(は)き物そろえや、正しい服装をしている。	77	18	3	1
		±0			
5	あなたは、授業、清掃、読書等のスタートの時間を意識し、チャイム着席ができている。	63	31	6	0
		+1			
6	あなたは、授業や集会で自分の考えを発表し友と関わろうとしている。	35	40	22	3
		△4			
7	あなたは、友の良さや多様性を認め、仲間を大切にしている。	79	19	2	0
		+1			
8	あなたは、地域に目を向け、地域での活動に取り組んでいる。	30	37	26	6
		△6			
9	あなたは、前向きに家庭学習に取り組み、宿題や課題等の提出期限を守っている。	45	32	16	6
		△6			
10	自分のもてる力を出して部活動を行っている。(部活動に入っている人のみ。3年生は部活動に入っていた頃を思い出して書いてください。)	80	15	4	1
		+3			

■生徒自身による二中学生の評価

	評価項目	評価(%)			
		4	3	2	1
11	二中学生は、はきはきとした声での挨拶や会釈(えしゃく)や返事ができている。	59	32	7	1
		±0			
12	二中学生は、「気づき」を大切にされた清掃をし、無言清掃を行っている。	47	40	10	2
		±0			
13	二中学生は、任された学級や生徒会などの活動を「よりよいものにしよう」と心がけて行っている。	71	26	2	2
		+3			
14	二中学生は、ルールで決められている履(は)き物そろえや、正しい服装をしている。	51	36	10	3
		△3			
15	二中学生は、授業、清掃、読書等のスタートの時間を意識し、チャイム着席ができている。	52	43	5	0
		△1			
16	二中学生は、授業や集会で自分の考えを発表し友と関わろうとしている。	63	31	5	0
		△1			
17	二中学生は、友の良さや多様性を認め、仲間を大切にしている。	69	27	3	1
		△1			
18	二中学生は、地域に目を向け、地域での活動に取り組んでいる。	56	34	8	2
		△2			

■学校生活に対する総合的な満足度

	評価項目	評価(%)			
		4	3	2	1
21	あなたは、充実した(楽しい)学校生活を送っていますか。	63	29	6	2
		+1			

上段：その評価(12月)を行った件数を回答数で割った数を百分率で示す。

下段：同調査を本年度7月と比較したもの。肯定的意見(3または4)の7月に対する増減を示す。

令和4年度「学校自己評価」のまとめ

保護者向けアンケートより

保護者の皆様に学校評価アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。保護者向けアンケートとは別に、生徒や職員のアンケートも含めて学校評価のまとめをさせていただきます。

アンケート結果から、第二中学校の成果と課題について三者の捉えに大きな相違はなく、職員が感じていることは保護者や生徒も感じているものであることが分かりました。改めて課題を明確にして次年度に生かしていきたいと考えています。いただいたご意見の中で検討を要するものもありました。すぐに改善できるところは今から実行し、分析をして次年度に生かしていきたいと考えています。

■項目Ⅰについて

「あなたは、充実した(楽しい)学校生活を送っていますか」という生徒向けの設問では92%の生徒が、また保護者向けの同類の設問に83%の保護者が肯定的に評価しています。その反面学校生活に不安をもちながら生活を続けている生徒がいるのも事実です。そのような生徒へのサポートを学校として進めていきたいと考えています。一因として挙げられるのが、他の項目に比べて自己表現が苦手と考えている生徒が本校に多い傾向あることです。具体的には、相手のことは大切に思っているが、思っていることが相手に伝えられない姿です。このことから次の点について検討を進めていきます。

- (1) 自分の思いや考えを様々な場(学級や学年、生徒集会)などで発表したり聞いたりする場面を設定し、自分の思いが伝えられたと生徒自身が感じられるように工夫していきます。
- (2) Q-Uや教育相談の機会をもち、ことばには出せないが学校生活に不安感をもっている生徒を早めに見つけ、担任はもちろん、どの職員も話が受け止められるように心がけ、必要に応じてスクールカウンセラーなどの外部機関と連携していきます。

■項目Ⅱについて

「学校の授業は楽しくまたは充実して受けられていますか」という生徒向け設問では92%の生徒が、また保護者向けの同類の設問に約80%が肯定的評価をしており、昨年度より改善傾向にあります。ただし生徒の「伝える・表現する」の自己評価の項目が低くなっており、毎年の課題となっています。このことから話し合う内容を工夫し、自分の思いや考えを授業中に発表したり聞いたりする場面を設定していくことを検討していきます。

■項目Ⅲについて

「あなたは、任された学級や生徒会などの活動を『よりよいものにしよう』と心がけて行っている。」という生徒向け設問では92%の生徒が、保護者向けの同類の設問に91%の保護者が肯定的評価をしています。ほかに「あいさつなどを家庭でも大切にしている」「自分で考え判断し行動できる」の設問では約90%保護者が肯定的評価をしており、本校の指導のみならずご家庭で普段からご指導いただいていることが結果として高く表れています。本校としては本校のよさと1つとしてとらえ、来年度も生徒にとって積極的な生徒会活動ができるように環境を整えていきたいと考えています。